

創立141周年



学校だより

は え

# 南風の子

中種子町立  
南界小学校

平成26年7月11日(金)発行

## あと一步の努力 成長の実感を得る夏に

校長 岡留 祐宏

1学期も間もなく終業式を迎えます。子どもたちは、それぞれの学年で1学期に頑張ることを決めてスタートしました。各教室に貼ってある目標カードを見ると、学習に関する事、運動面に関する事、忘れ物や友だちとの接し方等、生活面に関する事について、「もっと、できるようになりたい。成長したい」という思いが記してあります。

新鮮な気持ちで、やる気を持ってスタートして3か月余り。日数にして約100日です。この期間にコツコツと努力を続けることができたでしょうか。「〇〇ができるようになった」「もう少し



解決方法を説明し考えを深める(6年算数)

でできそう」など、自分なりに手応えを感じている子どももいるでしょう。あるいは、「頑張っているけれど、あまりできるようになったとは感じない」と思っている人もいるかもしれません。何かをやり始めたとき、はじめの1、2か月は伸びている実感を得にく

いけれど、実は、自分の体の内側では紙を一枚一枚重ねるかのよう

に少しずつ成長し続けていると言われます。そして、「ある期間」を過ぎると、ぐんと成長する時を迎え、それまでの努力が目に見えて実感できるようになると言われます。その「ある期間」は、3か月とか4か月とか言われたりするようです。ちょうど1学期ぐらいの期間です。右の囲いは、鹿児島市立山下小学校の山下紀弘校長先生が、学級担任をされていた当時、子どもたちと唱えていた学級訓だということで、『鹿児島の教育』で紹介されたものです。自分にも言い聞かせたいと思いました。間もなく夏休みに入りますが、この1学期に継続して取り組んできたことは、自分の内側で力を蓄えてきている。あと少しで、成長の実感を感じられるところまできている。「頑張っているけれど、なかなかうまくいかない」と感じていることがあれば、夏休みに入ってからも、「あと一步。やればできる」と自分に声をかけてみんなで努力を続けていきましょう。

『やればできる』  
まず、挑戦してみよう。  
はじめはうまくいかなくても、  
コツコツ頑張れば、  
わかるようになる・できるようになる。  
平成26年度『鹿児島の教育』6月号より

### 本の中には何がある？

6月下旬の校内読書週間に、子どもたちが作った読書標語やおすすめの本の紹介カードが多目的室に掲示してあります。

掲示された標語を見ると、「夢が広がる」とか、「わくわくの冒険がある」、「知らない世界がある」、「仲間がいる」などの言葉で、読書のいろいろな魅力を記してくれています。なるほど、そうだなあと思うとともに、そういう魅力を感じ取る体験をしていることを嬉しく感じます。

4月からすでに40冊以上読んでいる子どもたちが11名います。先日、多読賞として表彰しました。また、各学年のおすすめリスト20冊を読み切った子どもも3名います。

多くの本と出会い、本の中にある魅力をたくさん感じ取って、周りの人にもその魅力を話せる人になれたらいいなと思います。

### 子は親のかがみ そして・・・

ドロシー・ロー・ノルト博士の『子どもが育つ魔法の言葉』という本の冒頭に、「子は親のかがみ」という詩が掲載されています。

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる／子どもを馬鹿にすると、引込みじあんな子になる／認めてあげれば、子どもは、自分を好きになる／見つめてあげれば、子どもは、頑張るようになる／ (一部抜粋)

上記のような言葉が20項目記されていて、その一つ一つが心にずっと響きます。子どもがよりよく育つ学校でありたいと思う。子どもに関わる者として、「子は教師のかがみ」と自戒し、改めてこの本を読んでいます。